

特定のファイル拡張子に対してのみワードラッピングを有効にする

私は、特定のファイル拡張子に対してのみワードラップを有効にするために Visual Studio Code (VS Code) を設定する方法について尋ねていると仮定しています。以下のように実現できます：

1. VS Code の設定を開く：

- `Ctrl + ,` (macOS では `Cmd + ,`) を押して設定を開くか、ファイル > 環境設定 > 設定に移動します。

2. JSON 設定ファイルを使用する：

- 設定 UI で、右上隅の `{}` アイコンをクリックして `settings.json` ファイルを開きます。これにより、より細かい制御が可能になります。

3. ファイルタイプごとにワードラップを設定する：

- `"[filetype]": {}` 構文を使用して、特定のファイル拡張子の設定を指定します。例えば、`.md` (Markdown) と `.txt` (テキスト) ファイルに対してのみワードラップを有効にするには、以下のよう
に追加します：

```
{  
  "editor.wordWrap": "off", // デフォルト：すべてのファイルに対してラップなし  
  "[markdown]": {  
    "editor.wordWrap": "on" // .md ファイルのみラップ  
  },  
  "[plaintext]": {  
    "editor.wordWrap": "on" // .txt ファイルのみラップ  
  }  
}
```

4. 説明：

- `"editor.wordWrap": "off"` は、全体のデフォルトをラップなしに設定します。
- `"[markdown]"` と `"[plaintext]"` は、Markdown とプレーンテキストファイルの言語識別子です。他の言語識別子 (例：`[javascript]`、`[python]` など) に置き換えることで、他のファイル拡張子を対象にすることもできます。
- `"editor.wordWrap": "on"` は、その特定のファイルタイプに対してラップを有効にします。

5. 言語識別子を探す：

- ファイル拡張子の言語識別子が不明な場合は、VS Code でそのタイプのファイルを開き、右下隅の言語モード (例：「プレーンテキスト」または「Python」) をクリックし、言語を選択するコマンドパレットに表示される識別子を確認します。

6. 保存してテストする：

- `settings.json` ファイルを保存すると、VS Code は設定を即座に適用します。異なる拡張子のファイルを開いて動作を確認します。

この方法により、指定したファイルタイプに対してのみワードラップが有効になり、他のすべてのファイルは影響を受けません。特定の拡張子についてのヘルプが必要な場合は、お知らせください！